

アセアン+3 文化遺産フォーラム2015

東南アジア諸国と共に歩むー多様な文化遺産の継承と活用

注目が集まるアジアの文化遺産 アセアンと日中韓の代表者が語る

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターでは、文化庁および文化遺産国際協力コンソーシアムと共同で、来る12月13日、アセアン+3文化遺産フォーラム2015「東南アジア諸国と共に歩むー多様な文化遺産の継承と活用」を開催します。

東南アジアでは、近年、文化遺産の活用だけでなく、その保存や修復活動への関心が高まっています。文化遺産に対する考え方、保存修復の技術や継承の方法、そしてそこに携わる人材の育成や交流など、アジア全体での協力関係をこれまで以上に深化させ、文化遺産における21世紀にふさわしいアジア文化の未来を切り拓くことが必要とされています。

本フォーラムでは、アセアン各国とこれらの国をともに支援する日中韓の3か国から、政治・経済の枠組みを超えて文化遺産に携わる関係者が一堂に会し、各国の有形・無形の文化遺産保護の現状やそこに根づく精神を自由に語り合い、意見を交わします。今後、アジアの文化遺産の継承と活用に向け、地域全体として取り組むためのヒントを得る機会となることが期待されています。

当日は、報道関係者席をご用意しております。参加ご希望、事前取材等につきましては、お問い合わせください。

■アセアン+3文化遺産フォーラム2015 「東南アジア諸国と共に歩むー多様な文化遺産の継承と活用」

- 【日 時】 2015年12月13日(日) 9時30分～18時(開場:9時～)途中入退場可
- 【会 場】 東京国立博物館 平成館大講堂(台東区上野公園13-9)
- 【言 語】 英語/日本語(同時通訳付き)
- 【定 員】 300名
- 【参加費】 無料(事前申込制)
- 【申込方法】 フォーラム専用ウェブサイトのフォームよりお申し込みください。 <http://bunkaisan2015.net>
- 【主 催】 文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム
- 【後 援】 外務省、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、国際協力機構、住友財団、三菱財団、トヨタ財団、文化財保護・芸術研究助成財団、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、日本ユネスコ協会連盟、国立民族学博物館、日本イコモス国内委員会、NHK、朝日新聞社、産経新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

プログラム

- 基調講演 1: 「文化遺産は民族アイデンティティの結晶であるー「アセアン+3」の文化発展戦略にむけてー」
石澤良昭(文化遺産国際協力コンソーシアム 会長)
- 基調講演 2: 「アセアン地域の文化遺産」(仮題) ウィラ・ローポチャナラット(タイ王国 文化大臣)
 - セッション1 「多様な文化遺産、その魅力を活かす工夫と方策」
参加国:ブルネイ、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール
 - セッション2 「文化遺産を受け継ぐ絆を強化し、未来へ生かす」
参加国:カンボジア、インドネシア、ミャンマー、タイ、ベトナム
 - セッション3 「文化遺産保護の多国間協力」 参加国:日本、中国、韓国

- お問い合わせ: アセアン+3 文化遺産フォーラム事務局 東武トップツアーズ(株)東京国際事業部新宿支店
(担当:船矢、坂本) Tel: 03-5348-3500 / Fax: 03-5348-3798 / Email: APT-Forum@tobutoptours.co.jp
- 国際交流基金に関するお問い合わせ: 国際交流基金アジアセンター(担当:小島、佐藤) Tel: 03-5369-6025
コミュニケーションセンター(担当:川久保、森) Tel: 03-5369-6089 / E-mail: press@jpf.go.jp